

令和三年度 近畿納税貯蓄組合総連合会会長賞

すごしやすい社会

桜井市立大三輪中学校 三年 生駒 杏奈

私は日本の社会保障に対する税金の納める額が少ないと思います。アメリカでは公的医療制度がないが、日本には公的医療制度などの社会保障がしっかりしています。しかし、このままでは、日本の財政面が大変なことになると思います。では、日本の良さの一つである、社会保障の制度を続けていき、日本の財政面を守るにはどうしたらよいのでしょうか。消費税などの税金を増やすことは私たちにできないし、難しいと思います。だから、自分達ができることを探す必要があります。私が思う私達にできることは三つあります。

一つ目は公的医療制度で使われるお金を減らすことです。例えば救急車です。今、問題となっているのは、自分で病院にいけるのに無料だからといって、救急車を呼ぶ人がいるということです。このような使用方法をすると、本当に救急車を必要としている人のところに、すぐにいくことができなったり、大人の人などが働いて納めた税金の無駄使いになります。また、私たちは風邪をひいたり、けがをしたりして、病院にいくと、何割か負担してくれます。これは子供だけの制度ですが、私たちが日常で安全にルールを守って、生活をすることで、税金の出費を減らすことにつながると思います。

二つ目は、公共的な施設やモノなどを大切に使うことです。落がきをしたり、壊したりすると、修理代などがかかって、これも税金の出費につながります。だから、みんなで使うものだから、大事に、そしてルールを守って使うことが必要だと思いました。

三つ目は、学校でしっかり授業を受けることです。私たち中学生や小学生は、授業料が税金で行われています。また、教科書も税金によって無償で支給されています。「めんどくさい」「勉強なんてする意味がない」と言う人をよくみますが、これからの社会を支えるためにも、学校にいてしっかり勉強することが大事だと思います。教科書の裏面には、「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」と書かれています。この期待にこたえることで、社会の形成者となり、税金をしっかり納めることで、日本を支えられることになります。

このように私達ができることから、何かしていくことで、日本の未来を支えたり、よりすごしやすい社会になると思います。